

2013年11月28日

各位

JXホールディングス株式会社

第44回JX-ENEOS童話賞授賞式の開催およびJX-ENEOS童話基金からの寄付について

当社（東京都千代田区大手町二丁目、社長：松下 功夫）は、11月29日（金）に第44回JX-ENEOS童話賞授賞式を開催するとともに、JX-ENEOS童話基金より次世代育成・支援および東日本大震災の被災地の子どもたちの支援として寄付を実施しますので、お知らせいたします。

1. 第44回JX-ENEOS童話賞授賞式の開催について

11月29日（金）16時より、パレスホテル東京にて、第44回JX-ENEOS童話賞授賞式を開催します。授賞式では、第44回JX-ENEOS童話賞に入選された方々の栄誉を称え、賞状ならびに記念品を授与いたします。

また、同日、第44回JX-ENEOS童話賞作品集「童話の花束（その44）」を発行いたします。

2. JX-ENEOS童話基金からの寄付について

（1）全国社会福祉協議会への3,500万円の寄付について

次世代育成・支援のため、同授賞式において「JX-ENEOS童話基金」から社会福祉法人全国社会福祉協議会（全社協）に「JX-ENEOS奨学助成制度」の運営資金として3,500万円を寄付いたします。

「童話の花束」は、ENEOSのサービスステーション（SS）を運営する特約店やLPガスの特約店の皆様にお買い上げいただくほか、JXグループ各社やその役員・従業員も購入し、その売上金は、すべて「JX-ENEOS童話基金」に組み入れられ、同基金から毎年全社協へ寄付を行っています。この寄付金は、全社協が設立した「JX-ENEOS奨学助成制度」により、全国の児童養護施設、母子生活支援施設および里親家庭の子どもたちが大学などへ進学する際の入学支度金の一部として活用されています。

（2）「学校図書館げんきプロジェクト」※への300万円の寄付について

昨年度に引き続き東日本大震災の被災地の子どもたちの支援として、特に被害の大きかった岩手・宮城・福島3県の学校図書館を支援する「学校図書館げんきプロジェクト」に対して、300万円を寄付することとし、11月19日（火）に主催・運営する公益社団法人全国学校図書館協議会において目録を贈呈いたしました。

JXグループは、被災地の皆様が一日も早く平穏な生活を取り戻されるよう、被災地のニーズに沿ったさまざまな支援活動を今後も継続的に実施してまいります。

※ 主催・・・活字文化推進会議、公益社団法人全国学校図書館協議会、公益財団法人文字・活字文化推進機構



公益社団法人全国学校図書館協議会において森田理事長に
目録を贈呈する当社執行役員 山本一郎（写真右側）

なお、「童話の花束（その４４）」の発行に伴い、次のとおりプレゼント企画を実施いたします。

- (1) プレゼント内容：第４４回ＪＸ-ＥＮＥＯＳ童話賞作品集「童話の花束（その４４）」
（一人３冊まで）
- (2) 申 込 方 法：住所・氏名・希望冊数を明記し、郵送料分の切手を同封のうえ次の宛先へ
お申し込みください。
【宛先】〒100-8692 日本郵便（株）銀座郵便局 私書箱 610 号
「ＪＸ-ＥＮＥＯＳ童話賞プレゼント係」
〈郵送料〉１冊：２１０円、２冊：２９０円、３冊：３４０円
- (3) 締 切：２０１４年２月２８日（当日消印有効）

以上

【ご参考】

・ＪＸ-ＥＮＥＯＳ童話集「童話の花束」の概要について

ＪＸグループは、「心のふれあい」をテーマに、広く一般の方々からオリジナル童話作品を募集し、優秀作品を選出のうえ、一冊の童話集「童話の花束」にまとめています。本年度は、合計８，８７０編のご応募をいただき、その中から入賞作品として、３３作品を選出しました。そして、佳作以上の１８作品を「童話の花束（その４４）」に収録しています。

「童話の花束」は、ＪＸグループ各社や東京善意銀行などを通じて、全国の学校や幼稚園、社会福祉施設、里親家庭などに寄贈されています。

なお、「童話の花束」に使用する製紙原料には、ＪＸグループが森林整備に取り組んでいる地域の間伐材が活用され、国内の森林による二酸化炭素吸収量の拡大に貢献しています。ＪＸグループは、「童話の花束」を通じて、国内の森林保全を推進する林野庁の「木づかい運動」を応援しています。

・「童話の花束（その４４）」のデザイン

